

# 平成 31 年度春の政策協議〔個別協議〕

## 組織マネジメントシート

4月23日【病院事業庁】

	対 象 者	頁
1	病院事業庁長	P 1



# 平成31年度病院事業庁長 組織マネジメントシート

## 1 業務計画

### 使命・存在目的

県民の皆さんや地域に信頼され、かつ医療従事者にとって魅力のある病院づくりを進めながら、良質で満足度の高い医療サービスを実践し、県民の皆さんと共に、生涯にわたって健康な暮らしを続けられる医療環境の実現に貢献します。

※ 所管業務について、重点的に取り組む業務に関する当該年度の実施計画を記載します。

業務名	取組内容・目標	中間	期末	重点
○県立病院の経営	<p>県立病院の健全な経営と安定的・継続的な病院運営を行うため、医師、看護師等の確保・定着に努めます。</p> <p>また、各病院を取り巻く環境や求められる役割・機能をふまえ、医療機能等を充実させていきます。</p> <p>(目標) 経常収支比率 101.7%</p> <p style="padding-left: 40px;">医師充足率 100.0%</p> <p style="padding-left: 40px;">看護師充足率 100.0%</p>			
○こころの医療センターの経営	<p>政策的医療や専門的医療に取り組むとともに、訪問看護やデイケア等の地域生活支援を実施し、多様な医療ニーズに応じたサービスを提供していきます。</p> <p>①精神科救急・急性期医療の提供</p> <p style="padding-left: 40px;">(目標) 精神科救急患者受入件数 230件</p> <p>②認知症治療</p> <p style="padding-left: 40px;">(目標) 認知症入院患者数 40人/日</p> <p>③アルコール依存症治療</p> <p style="padding-left: 40px;">(目標) アルコール依存症入院患者数 30人/日</p> <p>④精神科早期介入・早期予防</p> <p style="padding-left: 40px;">(目標) 精神科早期介入対応件数 200件</p> <p>⑤デイケアサービス</p> <p style="padding-left: 40px;">(目標) デイケア・ショートケア延べ患者数 18,000人</p> <p>⑥訪問看護サービス</p> <p style="padding-left: 40px;">(目標) 訪問看護延べ患者数 5,000人</p> <p>⑦入院患者の退院支援</p> <p style="padding-left: 40px;">(目標) 入院後1年以内の患者退院率 95.0%</p> <p>⑧経営の健全化</p> <p style="padding-left: 40px;">(目標) 経常収支比率 101.2%</p>			

○一志病院の 経営	<p>幅広い臨床能力を有する総合診療医を中心とした医療サービスの提供を含めたプライマリ・ケアの実践や、多職種連携の要となるプライマリ・ケア人材の育成に取り組んでいきます。</p> <p>また、白山・美杉地域における実効性のある地域包括ケアシステムの構築及び地域医療の充実に向けて、津市と連携しながら取り組んでいきます。</p> <p>①在宅療養支援 (目標) 訪問診療、訪問看護等延べ患者数 4,000人</p> <p>②救急医療 (目標) 救急患者受入件数 1,000件</p> <p>③医療過疎地域への支援 (目標) 医療過疎地域等への支援件数 7件</p> <p>④総合診療医の育成 (目標) 初期研修医・医学生受入延べ人数 600人</p> <p>⑤看護実習生等の受入れ (目標) 看護実習生等受入延べ人数 330人</p> <p>⑥地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進 (目標) 学会、論文等発表件数 30件</p> <p>⑦プライマリ・ケアセンターへの支援 (目標) プライマリ・ケア研修会開催件数 3件</p> <p>⑧経営の健全化 (目標) 経常収支比率 103.8%</p>			
○志摩病院の 運営	<p>志摩地域の中核病院としての役割を果たせるよう、指定管理者と密接に連携し、地域の医療ニーズをふまえながら、診療機能の回復・充実に取り組んでいきます。</p> <p>また、現行の指定管理期間が残り3年となったことから、次期に向けた準備を進めていきます。</p> <p>(目標) 1日平均入院患者数 248人/日</p> <p>1日平均外来患者数 335人/日</p> <p>1か月平均救急患者数 549人/月</p>			
進捗管理	中間		期末	
成果と残された課題				
改善のポイントと取組方向				

2 運営計画（経営方針行動指針の実践取組）

運営ビジョン	<p>(1) コンプライアンスの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県立病院が県民の皆さんや地域に信頼されるよう、職員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上に取り組みます。</li> <li>○医療事故や個人情報の紛失・漏洩など日常業務における危機発生や不適切な事務処理の未然防止策の強化を図ります。</li> </ul> <p>(2) 職員力・組織力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県立病院の役割・機能に応じた医療が提供できるよう、職員一人ひとりの能力の向上に取り組みます。</li> <li>○日頃のコミュニケーションや「報告・連絡・相談（ほう・れん・そう）」を大事にして、職員が仕事を抱え込んだり、孤立したりせずにチームワークを発揮して業務を遂行できるよう、明るく風通しの良い職場づくりを進めます。</li> </ul> <p>(3) 業務改善等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークとライフの高度な両立が実現できる職場づくりを進めます。</li> <li>○地域へのより良い医療サービスの提供を進めるため、地域の医療機関や大学等関係機関などとの連携・協力の強化を図ります。</li> <li>○県立病院に求められている役割・機能を十分にふまえつつ、戦略的な経営を推進し、県民の皆さんに安全で良質な医療を提供するとともに、経営改善を進めます。</li> <li>○医療事故や災害の発生時に円滑に対応できるよう、発生を想定した訓練等を実施し、職員の危機管理意識を高め、危機対応力を向上させます。また、各病院のBCP（事業継続計画）の点検・改善を進めます。</li> </ul>
--------	---

(1) コンプライアンスの徹底

区分	取組内容・目標	中間	期末	重点
高い倫理意識の確保	<p>職員一人ひとりがコンプライアンスを「自分事」とできるよう、公務員（県職員）、とりわけ医療に携わる職員としての高い倫理感や人権意識の醸成を図ります。</p> <p>（目標1）県民の信頼に応える業務姿勢等をテーマにしたコンプライアンス研修の実施 各所属3回</p> <p>（目標2）患者の不安を軽減し、安心して治療を受けてもらうための医療従事者の倫理観・道徳観・人権意識の確認を目的とする研修の実施</p> <p style="text-align: right;">随時実施</p>			
適切な事務処理の実施	<p>事務処理ミスの発生や不適切な業務処理を防止できるよう、職員への周知徹底とともに、次の取組を実施します。</p> <p>（目標1）朝礼や班単位等でのミーティングの実施</p>			

	(目標2) 所属を超えたサポートの実施 (目標3) 過去の発生事例を題材とした、発生防止策と適切な事後対応等にかかる研修会の実施 (目標4) 院内会議におけるインシデントレポートの事例収集、再発防止策の検討			
進捗管理	中間	期末		
成果と残された課題				
改善のポイントと取組方向				

## (2) 職員力・組織力の向上

区分	取組内容・目標	中間	期末	重点
職員の能力開発	医療従事者等の専門的な知識・技術の取得・向上を積極的に支援します。 (目標) 各種研修会への参加や資格取得の促進 2回/人			
チームワークの向上や職員の意欲の増進	病院現場を重視する視点を常に持ちながら、職員間のコミュニケーションを大切にして、疑問や課題を一人で抱えることなく何でも尋ね、相談できる明るく風通しの良い職場づくりを進めるとともに、協力して実践する組織をめざします。 (目標1) 病院現場との定例的な会議の開催 月5回 (目標2) 病院現場の訪問 随時			
進捗管理	中間	期末		
成果と残された課題				
改善のポイントと取組方向				

(3) 業務改善等の推進

区分	取組内容 目標	中間	期末	重点
ワーク・ライフ・マネジメントの推進	<p>ワークとライフの高度な両立を実現するため、業務の計画的・効率的な執行と平準化（時間軸・職員間）に努めるとともに不断の業務改善に取り組み、時間外勤務の削減を図ります。</p> <p>また、年次有給休暇等の取得を促進するとともに、職場全体で育児参画を応援する環境づくりに取り組みます。</p> <p>（目標1）時間外勤務の縮減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外勤務 167 時間以下/人</li> <li>・超長時間勤務者数 0 人</li> <li>・定時退庁強化週間の実践 4 回</li> </ul> <p>（目標2）年休等の取得促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年休取得 127 時間以上/人</li> <li>・「ノー残業デーに時間休（年休）を取得しよう！」の取組を進め、年休取得を推進 15 回/人</li> <li>・夏季休暇取得率 100%</li> </ul> <p>（目標3）男性職員の育児参加休暇取得率 100%</p> <p>（目標4）男性職員の育児休業取得率 25%</p> <p>（目標5）ワーク・ライフ・マネジメントシート等を活用した対話の実施 3 回</p>			
協創・現場重視の推進	<p>（1）患者が住み慣れた地域において安心して暮らしていけるよう、医療、介護、予防等のさまざまな関係機関との協創による取組を推進します。</p> <p>（目標）多職種連携等による取組の実施</p> <p>（2）各病院現場の取組について、病院事業庁全体で情報共有するとともに、参画を図ることなどにより、一層の充実、推進を図ります。</p> <p>（目標）病院現場の取組や会議等への本庁職員の積極的な参加</p>			
県民サービス・事業効果等の向上	<p>（1）県立病院の役割・機能に応じた取組を進めて入院・外来収益の確保を図るとともに、経費削減など経営改善に取り組みます。</p> <p>（目標1）経常収支比率 101.7%【再掲】</p> <p>（目標2）業務改善の推進</p> <p>2 テーマ:未収金、診療報酬</p>			

	<p>(2) 患者等のニーズに応じた改善策を講じ、満足度の高い医療を提供します。</p> <p>(目標) 患者満足度 95.0%</p> <p>(3) 県民の皆さんに対し、県立病院の取組を積極的に情報提供します。</p> <p>(目標) 地域住民参加イベントの参加者数 500人</p> <p>(4) 医療の安全性を最優先にしつつ、環境負荷の低減に取り組みます。</p> <p>(目標) 電力使用量の削減</p>			
危機管理	<p>(1) 医療事故の防止に努めるとともに、職員の危機管理意識の向上を図る取組を進めます。</p> <p>(目標) 危機管理研修等への参加率 94.5%</p> <p>(2) 大規模地震等の自然災害を想定した訓練等を実施し、危機対応能力を向上させます。</p> <p>また、各病院のBCP(事業継続計画)の点検・改善を進めます。</p> <p>(目標) 災害訓練等実施回数 各病院2回以上</p>			
進捗管理	中間	期末		
成果と残された課題				
改善のポイントと取組方向				